



岩高同窓会報

発行所
 岩ヶ崎高等学校同窓会
 宮城県栗原市栗駒
 中野愛宕下1の3
 TEL (0228) 45-2266
 FAX (0228) 45-2267
 印刷 タカハシ印刷

題字 葛岡 重利 (S41卒)
 写真 佐々木勝行 (S38卒)

同窓の絆



同窓会会長

蘇武 徳行

(昭47年卒)

岩ヶ崎高校同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。私事、昨年の八月の総会において、会長に就任いたしました。宜しくお願いいたします。昨年は久々に懇親会も計画し、初めて佐藤智栗原市長をご来賓にお迎えし、盛況に開催いたしました。



会長就任にあたっては、母校の現況を鑑みますと、より一層、気を引き締めて望みたいと思っております。同窓の皆様方のさらなるご協力をお願いいたします。昨年十一月二十三日に東京岩高会総会が開催されました。本部からは、六名参加させて頂きました。



また、仙台支部総会が、豊嶋潤支部長のご尽力で二月二日に開催されました。仙台は東京と同様に本部としては心強い拠点として、益々のつながりを期待しています。そして、三月一日三十六名の卒業式、四月八日は十六名の入学式が行われました。



県教委は二月に「県立高等学校将来構想審議会」に対し、平成三十一年二月に策定した「第三次県立高校将来構想」を前倒しして策定する諮問を決めました。これにより策定が、実質三年早まる事となります。

私達は、岩ヶ崎高校のこれまでの実績と、今後の重要性を訴える活動を続けて参ります。会員の皆様方の益々のご健勝と、同窓会に対する更なるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

岩高同窓会報に 寄せて



栗原市長

佐藤 智

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、貴同窓会の会報第45号が発行されましたこと、誠にめでたうございます。

岩ヶ崎高等学校は、志を高く持ち、優れた人間を育てる、「尚志育英」を建学の精神とし、多くの優秀な生徒を育て、輩出されてきた永い歴史と伝統がある、市内でも有数の進学校であります。

卒業生の皆様は、様々な分野で御活躍され、市のまちづくりにおいても多大なるお力添えをいただいております、今年、栗原市が「住みたい田舎」全国第一位に輝くことができましたのも、皆様と共に進めて来たまちづくりが評価されたものであると、心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の交流の場である同窓会は、世代間交流を促し、会員同士の強い結束力が、地域の活性化にも重要な役割を持つものであります。が、少子高齢化などにより若者世代が減少している昨今は、皆様も新たな会員の入会のため、日々、努力されていることと思います。

栗原市としても、若者の定住促進に向けた取り組みを進めており、今年度は、すでに実施している市内企業に就職した市民への奨学金返還支援事業を拡充したほか、業種を問わず様々な企業が進出できる、新たな工業団地の立地に向けた産業用地の適地調査を実施するなど、雇用の創出へさらに力を入れてまいります。

明日を担う子どもたちに、豊かな美しいくりはらを引き継ぐため、岩ヶ崎高等学校で学ぶ生徒の皆さんが、今後も栗原に住み続けたい、将来帰って来たいと思えるまちづくりを進めてまいりますので、今後とも当市の取り組みへの御理解、御協力をお願いいたします。

結びになりますが、岩ヶ崎高等学校同窓会が、世代や地域を越えた交流の場として、今後、ますます御発

展されますこと、また、同窓生の皆様のさらなる御活躍を祈念申し上げます。挨拶といたします。

会報に寄せて



学校長

村上 孝志

同窓会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本校は、おかげさまで創立八十三周年を迎えております。今年度、令和四年度から三年計画で行われていた学級減の完成年度を迎え、各学年二クラス体制となりました。近年の入学生の減少は、本校にとって大きな課題となっておりますが、一方で、少人数だからできる、教員と生徒一人一人との信頼関係の構築、手厚い学習指導、三年間を見通した計画的な進路指導などを積極的に進めています。

令和五年度卒業生三十六名の進路を見ますと、地元東北大学をはじめとする国公立大学に八名、私立大学に延べ五十八名の合格など、県内有数の進路実績を収めています。

また、昨年度より県の事業である「地域進学重点校改革推進事業」の改革推進校にも指定され、地域と連携した探究活動を中心とする教育活動にも取り組んでいるところです。

この事業では、生徒の主体性や自己を表現する力の育成も大きな柱となっています。その成果として、高校生ソーシャルビジネスアイデアコンテストの全国大会に出場した生徒が賞を獲得したり、軽音楽部が東北大会で準グランプリを受賞し全国大会に出場するなど、素晴らしい活躍を見せてくれています。

そして、現在は、令和七年度入学生からの制服の改訂や、国際教育の充実など、学校の魅力化にも取り組んでいるところですので。

今後も、地域に根ざした魅力ある学校づくりを進めて参りたいと思っておりますので、引き続き皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

私とネパール



東京支部長
長沼 和秋
(昭53年
岩高卒)

第67回 東京岩高会総会は、令和5年11月23日 蘇武德行同窓会会長、村上孝志校長先生、豊嶋潤仙台支部長など60名のご出席を頂き開催致しました。会を開催する度々に後藤仁先輩(S・45)から、とても多くのスイートポテトを頂き、今回も全出席者にお配りさせて頂きました。特別プログラムは、高橋良哉さん(S・53 東邦大学教授)による「老化とアンチエイジング」、ポイントは一日8,000歩、日光浴、お風呂、適量のアルコール、程々のストレス、一番気になるテーマでのお話でした。私と「ネパール」との繋がりも40年、現在日本にはネパール国の方々が15万人、栗原市内にも50名を超えるネパールの若者がおられます。ネパールはヒマラヤ山脈に囲まれた内陸国、

産業らしい産業がなく(月収3万円)、仕事を求めアメリカ、日本、マレーシア、中東などに渡り(500万人)、日本にやって来る若者の多くが日本語学校に入りその後専門学校、大学に進学し就職していく。日本語学校の学費のために借金をし(150万円)、バイトをしながら返済したいと思っけていても、学生ビザでは週28時間しか働くことができないことを認識せず来日する人もおり、時間を超えては不法労働となり、借金が返せない現実と直面しているケースも少なくない。性格は素朴で人懐っこくネパール語の語順が日本語と同じなのでとても親近感があり、何らかの支えになればと思っております。今年、東京岩高会総会は11月23日(土)。特別プログラムは、三浦修さん(S・56)の「国会図書館」に係るお話、多くの方々のご出席をお待ちしております。



なんとか有言実行



仙台支部長
豊嶋 潤
(昭60年
岩高卒)

仙台支部長の豊嶋潤です。支部長を拝命して三年目を迎え、今更ながら、その肩書きの重さと、皆様の期待に応えられるかの不安が増してきた今日この頃です。昨年、「決意表明?」という内容で投稿したのですが、調子こいて決意表明をしなきゃよかったと本当に反省した年でした。なんとか懇親会は開催しましたが、今回は、開催までの経緯と反省、今年度開催に向けての思いを改めて述べたいと思います。開催日については、八月の本部の総会までに確定させたのですが遅れてしまい、東京支部総会には案内できるようにと、個人的に忙しくなる前という理由で二月初旬に決定しました。開催案内の周知についても、まずは県庁、県警、仙台市の各岩高会の幹事をお願いし、あとは、先輩や同級生、後輩に連絡して人集めを行った次第です。蘇武会長や本部の事務局の方々

にも本当にお世話になりました。結果的に、来賓を含めても二十二人でした。少ないよねって印象ですが、参加者は昭和五十三年から平成二十五年卒業生まで幅広い年代の方々に集まっていたことに、少しだけ希望があると感じております。会場もホテルの宴会場を予約したため、会費が少し高額となったことは反省です。今年はまだ少し経費を抑え、気軽に参加できるような場所を選定したいと思っております。昨年参加した方々は、今年は新たに一人ずつ連れて参加してくださいね。また、この会報を目にされた仙台近郊にお住いの同窓生の皆様におかれましては、是非参加願います。仙台支部の盛り上げに力を貸してください。終わりに、岩ヶ崎高校同窓会と岩ヶ崎高校の益々の御発展と会員皆さまの御健康と御多幸を心より御祈念申し上げます。

